



八中だより



令和6年4月10日 4月号
調布市立第八中学校
校長 馬場 誠

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chofu8/>

和やかな笑顔と思いやりのある言葉にあふれた学校づくり

校長 馬場 誠

風雨のなか、校門に咲く桜の花は雨に負けじと枝にとどまり、新入生の登校を優しく見守っているようでした。初々しい空気をまとった109名(4学級)の新入生を迎え、穏やかな入学式をとり行えましたことをご報告申し上げます。2年生116名(3学級)、3年生127名(4学級)も順調に新学期を迎え、頼もしさを感じさせるスタートを切りました。新体制となって生徒を迎え入れる教職員たちも、これからの生徒たちの成長を思い、胸を高鳴らせています。今年度も素晴らしい年になりますよう、保護者の皆様、地域の皆様の変わらぬご支援をよろしくお願ひします。

さて、今年度の本校のスローガンは、下記のようにいたしました。和顔愛語(わけんあいご)という言葉は、前年度の4月の朝礼で私が語った言葉です。朝礼では毎回、四字熟語を一つずつ取り上げて話をしてきましたが、中でも和顔愛語という言葉はその後も生徒たちがよく口にしており、彼らの中でかなり浸透したように感じていました。私も大好きな言葉なので、さらに校内に定着させたいと思い、スローガンにいたしました。

和顔とは和やかな笑顔のこと、愛語とは思いやりのある言葉のことをいいます。ともすると私たちは眉間にしわを寄せ、相手を傷つけることで自分の優位を示そうとしてしまうことがあります。しかし、それが一体なにを生み出すことになるのでしょうか。相手に放った矢は必ず自分に返ってきます。それよりも、にこやかな表情でいつも相手を思いやる言葉を掛けることで、関係は柔らかく優しくつながります。学校に関わるすべての人たちが和顔愛語でいれば、そこは心理的安全性の高い、居心地のいい場所になるはずで、自分らしくいても、傷つけられる心配がなく、伸び伸びと生活できる学校。本校は調布市で一番小さな中学校ですが、その分、一番和やかな学校でもあることをこれからも目指していきたいと思っています。

ところで本校では、今年からさらに新しく始める事業があります。教室に入りづらい生徒が校内で学習をしたり、交流をしたり、支援を受けたりするための部屋を作ることです。時代とともに生徒たちの学び方は多様になってきています。その多様な学び方を保障する仕組みとして、このような部屋を用意することにしました。内部の家具やインテリアなどは保護者、地域の皆様のご協力をいただきながら進めていきたいと存じます。手作りの温もりがある部屋を目指します。どうぞよろしくお願ひします。

令和6年度 学校スローガン

「和顔愛語の心をもって、心理的安全性の高い学校を目指す」